

本当に救急車が必要ですか？ 救急車の適正利用にご協力下さい

救急車の出動件数は、年々増加しています。甲賀市と湖南市における平成18年中の出動件数は、4,755件で4,759人を医療機関に搬送しました。

甲賀市と湖南市の両市民の約30人に一人が利用したことになります。

救急車の年間出動件数は5年前に比べると約1,000件も増加しています。

しかし、最近の救急出動では、軽いケガや緊急性のないようなものによる119番通報による出動が増加しており、搬送された傷病者のうち約5割が軽症者で占めています。

また、出動要請の増加に交通混雑の深刻化も加わって、要請を受けてから現場到着までの時間は年々長くなっております。

このため、命に危険がある重症患者などへの救急出動の対応が遅れてしまうことが心配されます。

救急車は本来、命にかかわるような病気やケガの人を一刻も早く医療機関に搬送する必要がある場合に利用するものです。

緊急性のない病気やケガはなるべく自家用車かタクシーの利用をお願いします。



甲賀広域行政組合消防本部